

【お知らせ】WithSecure アカウント認証ポリシー厳格化について

2026 年 09 月 02 日 15:00(発行)

平素より WithSecure 製品をご利用いただき誠にありがとうございます。WithSecure では、フェデレーション認証を導入していない Withsecure サービスアカウント(ユーザー名・パスワード・多要素認証”MFA”によるログイン)に関し、認証ポリシー厳格化を予定(2026 年 9 月)しております。対象となる可能性があるお客様・パートナー様は下記の内容をご確認ください。日程が決まりましたら当ニュースにてお知らせいたします。

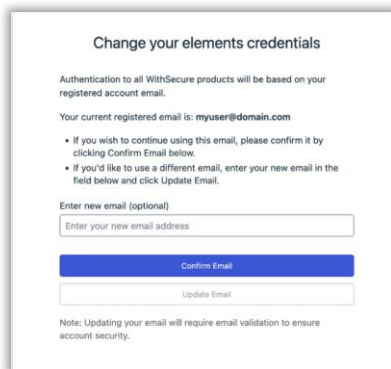
[対象]

以下のいずれかに該当するアカウントは、ログイン時にユーザ対応が必要となります。

- 2024 年 8 月以降ログインがなく多要素認証(MFA)が未設定
- メールアドレス形式ではないユーザー名を使用している
- ユーザー名がメールアドレス形式であるがメールアドレスと不一致
※メールアドレスが複数登録されているアカウントも含む

[ユーザ対応]

1. ログイン試行時に「Change your elements credentials」が表示されます。状況により下記の対応を行ってください。「Confirm Email」をクリックすると「Your current email is,,,」に表示されているメールアドレスがユーザー名として設定され、次回ログインに使用できます。



Change your elements credentials

Authentication to all WithSecure products will be based on your registered account email.

Your current registered email is: myuser@domain.com

- If you wish to continue using this email, please confirm it by clicking Confirm Email below.
- If you'd like to use a different email, enter your new email in the field below and click Update Email.

Enter new email (optional)

Enter your new email address

Confirm Email

Update Email

Note: Updating your email will require email validation to ensure account security.

2. 多要素認証(MFA)が未設定の場合、次回ログイン施行時に MFA 設定が表示されます。

アカウントを安全に保ちま
しょう。

別の認証方法を追加

 Google Authenticator など >

 Auth0 Guardianアプリからの通
知 >

 セキュリティーキー >

3. ウィザードが表示されない場合やエラーが表示された場合、ログイン画面からパスワードリセットを行い再度ログイン試行してください。

パスワードを入力して下さい

:@withsecure.com [編集](#)

パスワード*
***** 

[パスワードのリセット](#)

続ける

※多要素認証が未設定かつ登録メールアドレスも使用(受信)できない場合、他ユーザでアカウント削除/再作成を行ってください。他のユーザ登録がない場合パートナー様/Withsecure カスタマーサポートにご依頼いただく必要があります。

[対象システム]

以下のポータルサイトをご利用のお客様・パートナー様

- WithSecure Elements
- Partner Portal
- Community
- eService

[日程]

- 2026 年 8 月 24 日の週: 検証環境(Staging)にて適用開始
- 2026 年 9 月: 本番環境(Production)への適用を予定

[推奨アクション]

現時点では検証環境のみの適用であり、本番環境をご利用の場合の影響はございませんが、9月の本番環境適用に備え、対象条件に該当する可能性のあるお客様・パートナー様は、あらかじめご利用のアカウントについて、登録メールアドレスの確認状況および多要素認証の設定状況をご確認いただくことを推奨いたします。ログインができない状態となった場合は、まず貴社またはパートナー様の管理者にご連絡ください。

※事前対処として Elements ポータルログイン後、「設定」→「メールアドレスを変更する」からメールアドレス修正が可能です。



[本対応の目的]

- 漏洩したパスワードによるアカウント侵害リスクの低減（多要素認証の必須化）
- パスキーなど将来の認証機能拡張に向けた、メールアドレスをベースとしたアカウント識別子への標準化

不明な点がある場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

お問合せフォーム

<https://www.withsecure.com/jp-ja/support/contact-support/email-support>